

報 告

「乗り物SIG」情報交換会の報告

乗り物SIG 代表／オットーボック・ジャパン株式会社 岩崎 満男

1. はじめに

「乗り物SIG」としての小さな一歩を歩み始めた。「乗り物SIG」とは、身体に障害を持つ方たち（小児、大人、高齢者など皆）の移動や、乗り物全般、公共交通のバリアフリー、近未来のモビリティなどの乗り物等の課題について、会員相互で年齢、立場を超えて皆で議論して情報交換を行い、情報を求めている方々への情報伝達が目的である。

2012年夏の福岡での第27回リハ工学カンファレンスが終了した8月26日（日曜日）に、第1回目の高齢者・障害者のモビリティに関する情報交換会を開催したので報告する。

2. 初めてのイベント

情報交換会のテーマは「モビリティの現状と将来の可能性」。第1回でもありPR不足もあるので参加者が少ないのではという危惧があったが、当日はスタッフも含め38名（障害のある方は15名）の参加者があった。会場は、JR春日駅近くのアクセスの良い春日クロバープラザの研修室とアーチェリー場を、福岡県障害者スポーツ協会との共催となり無償借用ができた。午前中は、研修室で佐賀大学の松尾氏より「モビリティの現状」という題で基調講演を頂いた。障害者や高齢者にとっての移動の重要性、現状の課題、様々な事例など分かりやすく解説して頂いた。昼食を挟んで午後から広いアーチェリー場で、各企業（①オットーボック・ジャパン㈱、②㈱オーエックスエンジニアリング、③㈱メックデザイン、④㈩さいとう工房）より持ち込まれた様々な「乗り物」

のプレゼンとデモンストレーションを行い、その後は参加者が自由に試乗できるようにした。

各企業からのプレゼンでは、オットーボック・ジャパン㈱の生沼氏より、最新の脳性麻痺小児の歩行訓練機器のKidWalk（キッドウォーク）の説明があった（図1）。この機器は、ハンズフリーのシステムで、子どもが環境の中で自由に動くことを学び、2本の足で立って歩くことで子どもの自信や自立度を向上させることができる機器だった。



図1 KidWalk（キッドウォーク）の説明 ①

（㈱オーエックスエンジニアリングの山口氏からは、電動ユニットやハンドバイクの説明があった（図2）。特に開発中の03-E（開発コード番号）は、電動車いすを各ユニット（車輪、バッテリー、電動ユニット、椅子本体）ごとに簡単に分解できることで車載の負担を軽減し、車輪の電動／手動の付け替えも簡単という利点があり、新しい市場の開拓が期待できる機器だった。

（㈱メックデザインの吉田氏からは、全方位電動車いすのMoonWalkの説明があった（図3）。この機器は、前後左右、転回と自在に動き回れ、座面をリフトで下げれば床のものが拾えて、上げれば鴨居に手が届き、前に倒せば乗りやすく、少しの前傾で作業

オットーボック・ジャパン株式会社
モビリティソリューションズ事業部
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F

姿勢が取りやすく、後に倒して褥創防止とリラックスができるという機器だった。



図2 電動ユニットやハンドバイクの説明 ②



図3 全方位電動車いすの MoonWalk の説明 ③

㈲さいとう工房の齊藤氏からは、さまざまな形に車いすが変化して生活を支援する多機能型電動車いすの説明があった(図4)。従来の4輪の車いす形状にさらに後ろ2輪が追加され全6輪の外観で、リフ



図4 多機能型電動車いすの説明 ④

ト機構あり、座面降下機構あり、といった機能をモジュールのように付加し、本人の生活パターンに合った電動車いすに変身できる機器だった。

3. 会を終了して

協会関係者の友情参加もあり、終わってみると開催して良かったと改めて感じた。特に、参加者の肢体不自由児の親子たちは、自分達の将来の「乗り物」に興味深々で試乗していた。試乗中の彼らの笑顔がとても印象的で、いつの時代もモビリティの存在は移動保障の担保として、重要な位置付けと改めて認識した。「乗り物 SIG」として運営を継続し、次回も同様な会を実施できるようにすることが、当面の課題となった。

最後に

会場借用に関して協力していただいた福岡県障害者スポーツ協会、会の運営に関して協力していただいた各企業の方々、スタッフの方々、そして参加していただいた方々に、この場を借りて感謝申し上げます(図5)。



図5 協力していただいた各企業の方々とスタッフ

【参考】各協力企業の URL

- ① オットーボック・ジャパン(株)
<http://www.ms.ottobock.jp/>
- ② (株)オーエックスエンジニアリング
<http://www.oxgroup.co.jp/>
- ③ (株)メックデザイン
<http://blog.livedoor.jp/yoshidachair/archives/1823238.html>
- ④ ㈲さいとう工房
<http://saitokobo.com/>